平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ８６ ※記入不要	提案機関名	横須賀三浦地区農攻事務所

要望問題　野菜くず（主として大根）の処理方法等の検討について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

<背景>
野菜くずが廃棄される共同処分場の不足、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の改正に伴う罰則の強化及び県営ほ場整備事業三戸小網代地区の付帯工事である三浦市三戸小網代地区における農地基盤造成工事の進捗の面で、野菜くずが問題となっているため。

<内容>
野菜くず（大根）の水分除去による廃棄物の減量化とその絞り汁の廃棄に伴う周辺環境との影響調査等が必要不可欠です。
そこで、主として生産者が簡易的に処理できる方法等を研究していただきたい。

<対象地域>
三浦市全域（ほ場整備区域内では、三浦市初声町三戸及び三崎町小網代地内）

<規模>（面積、数量等）
ほ場整備区域内では、次のとおりです。
耕地面積：３８ｈａ（県営施工：表土分（上部））
緑農区域面積：４８ｈａ（土地改良区施工：盛土＋表土（下部））

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：三浦試験場	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
特産野菜の高品質安定生産のための耕種法の改善、他

対応の内容等
この問題は三浦地域の重要な課題です。しかし、野菜屑、とくにダイコンやスイカは水分が多く、その処理処分は非常に難しく、有効な方法が全く見あたらないのが現状です。また、昨年から始まった農協共販での有利販売のための 3L 規格ダイコンの出荷停止が、屑ダイコンの発生量増加を助長しています。
問題解決のためには個々の農家レベルで実践できる、簡易な屑ダイコン対策を確立することが重要です。そのためには、①屑ダイコンが発生しない、斉一な栽培技術による A 品率向上、②B品ダイコンの、切り干しダイコン、割干しダイコン、つま物等への加工利用とその経済性の検討、③それでも発生した少量の屑ダイコンを、圃場の片隅で堆肥化処理する簡易な方法の検討が必要です。
これら①～③の内容を、標記試験研究課題等の中で研究項目化し、関係部場で研究対応いたします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	